

本時のねらい

- ・松尾芭蕉のものの見方や感じ方について考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・スプレッドシート上で芭蕉の見た景色と気持ちを考えるカードを作成する。
- ・スプレッドシートを用いることで自分の課題を進めながら、瞬時に通常学級で学んでいるクラスメイトの考えを他者参照ができる。

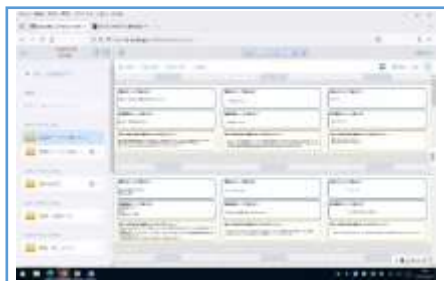
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google Classroom
- ・Google スプレッドシート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	本時の学習課題 「教科書にある俳句地図から自分が読み取りたい俳句を選び、松尾芭蕉が①どのような景色を見て②何を感じ、何を伝えたかったのかをカードにまとめる。」 ・前時までの学習内容（松尾芭蕉がどのような気持ちで旅に出たのか、平泉では何を見て、どのようなことを考えたのか）を踏まえ、自分が選択した俳句を再確認する。 【写真 1】	・実際に取り組む課題をスプレッドシート上で示すことで、自分が取り組む課題の見通しをもつことができる。
展開 (40 分)	・自分が選択した俳句を読み、松尾芭蕉が ①どのような景色を見て ②何を感じ、何を伝えたかったのかを、スプレッドシートにまとめる。 ・Google Classroom 上のスプレッドシートから他者の成果物を参照しながら学習課題に取り組む。 ・適宜、インターネットを用いて言葉の意味を調べたり、必要な情報を検索したりしながら情報収集を行う。 【写真 2】	・自分の端末上で課題に取り組みながら、同時に通常教室で学ぶクラスメイトのスプレッドシートを参考にすることができる。 ・文章を書くことが困難な生徒も、クラスメイトのスプレッドシートを随時見ることができるので参考にすることができる。 ・端末ならではの予測変換や、情報を検索する際にも予測して助詞を出してくれるため、文章を書くことが困難な生徒も取り組みやすい。
まとめ (5 分)	・他者のスプレッドシート参照しながら、自分のスプレッドシートを完成させる。 【写真 3】	・クラスメイトの成果物を何度も参照することで、自分の課題をより質の高いものにすることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】これまでの学びの確認



【写真 2】他者参照しながら学ぶ様子



【写真 3】課題の進捗状況を確認している様子

児童生徒の反応や変容

- ・文章の読み取りに課題があり、また文章で表現することにも苦手意識が見られるが、他者の意見や考えを参照することによって、どのような内容を読み取ればよいかを理解しやすくなり、それを踏まえて自分の考えを言葉や文章で表現する力が身につけてきている。
- ・インターネットを活用して新しい情報や知識を得るだけでなく、スプレッドシート上での他者の考えに触れることで、自分の考えを深めることができた。知識を定着させるだけでなく、自分の考えを発展させる場面も見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・自分の考えを言葉や文章で表現することに課題のある生徒であっても、スプレッドシートをクラス全体で共有しているため、教室で同じ単元を学んでいる生徒を他者参照しながら学習を進めることができた。スモールステップで、個別のペースや習熟度に合った学習を進めることができています。